

海から来る幸いと災い

西表島研究の場合

安溪遊地 Ankei Yuji

安溪貴子とともに生物文化多様性研究所に所属

- ・西表をほりおこす会（こづかい）
- ・地球研Linkageプロ（生活基盤ユニット）
- ・京大理博（アフリカの物々交換市場の研究）
- ・山口県立大学名誉教授（文化人類学・地域学）
- ・日本生態学会自然保護専門委員（エネルギー）

あったぐぐ（荒れ田の鶏） 西表的自己紹介

- ・ 1974年から西表中毒。理学バカセとなり、山口県立大学名誉教授になった現在も、西表ヤマ学校は卒業できない。
- ・ 安溪貴子とともに、網取村のもと住民の方の著作の産婆役。山田武男著1986『わが故郷（シマ）アントゥリ』、川平永美述1990『崎山節のふるさと』、山田雪子（聞き書き）1992『おばあちゃんの自然生活誌』（電子書籍として「おきなわ文庫」から刊行中）
- ・ 共編著に、2008『調査されるという迷惑—フィールドに出る前に読んでおく本』、2007『西表島の農耕文化』、2011『奄美沖縄環境史資料集成』、2017『廃村続出の時代を生きる』など。

「バカセなら毎年何十人もくるぞ」 研究者への3つの課題

- 1. 地域社会あつてのフィールド研究 Research ethics
(西表島文献目録は「盗品リスト」←石垣金星氏の言葉)
- 2. 自然の研究と保全は一体 Study and conservation
(知らないものを愛することはできません。愛していないものを守ることはできません。←ケニアのカカメガの森での言葉)
- 3. 文化あつての自然 Biodiversity → Biocultural Diversity
(無人島じゃありません。ヤマネコの餌場は田んぼの周辺)

1a 島の人が立ち入らない所と時を尊重

- ・御嶽（うたき、西表西部ではウガン）
- ・浦内のトゥドゥマリの浜（聖地の例）
- ・おまつりの日、祈りの時（『調査されるという迷惑』）

1b 西表島関係文献目録のアップデートを

- ひきつづき祖納公民館に集積できれば
- →デジタル化して島内で利用？
- 「西表島の地名と生物文化データベース」を参考に
<https://aiiriomote.wixsite.com/mysite>

1 c. 網取崎山出身者の「うるち会」との連携を

- ・ 崎山出身の川平永光（かびら・えいこう、元石垣市助役）さんから、ご協力の申し出がありました。
- ・ コロナで休止している「うるち会ふるさと訪問」の再開への同行をお願いできれば、いろいろ習える。
- ・ 東海大の予算で、網取案内のパネルや、島ことばでの地名入りの地図を作成されては？ たいへん喜ばれると思います。1980年代の音源を提供できます。

・ 2 自然保護は業績にならない？ いや、なります！

- ・ 各学会に自然保護部門があります。若いメンバーの参加が望まれます。
- ・ 日本生態学会の要望書の例 <https://www.esj.ne.jp/esj/Activity/index.html>
- ・ 著しく高い生物多様性を擁する沖縄県大浦湾の環境保全を求める19学会合同要望書(2014)
- ・ 上関原子力発電所建設工事の中断と生物多様性保全のための新たな調査と対策を求める要望書(2010)
- ・ 西表島浦内地区におけるリゾート施設建設の中断と環境影響評価の実施を求める要望書(2003)

・ 3 a 自然と文化の対話をめざして

- ・ 海と生き物の認識と利用（ethnoichthyology等）
- ・ 海と陸をつなぐもの（ニライ・カナイはどこに？）
- ・ 現在と過去をつなぐもの（ethnoarcheology）
- ・ 安溪遊地、2013「西表島の動物たちと人々とのかわり」『西表島自然観』北九州・魚部、98-101ページ（<http://ankei.jp/yuji/?n=2569>）
- ・ 安溪遊地・安溪貴子、2022「伝承の中の生物たちー与論島から与那国島まで」高橋そよ編著『島と語る01・琉球弧与論島』Linkage ブックレット01、地球研、112-125 ページ（非売品、地球研のサイトでpdfを公開中）

・ ピパチ ヒハツモドキ (コシヨウ属)

・ ピパチ コシヨウダイ属

(アヤコシヨウダイ) 🙌



オーニ オオウナギ/ウナギ
タチオーニ チンアナゴ
ウラチ オーニ (浦内村のあだ名)



・ ユリミナ マガキガイ

鹿川村山腹の御嶽跡から発見
(貝ひとつ牛一頭換算の供物)



現代の石器 貝割石



• 3b. 廃村にも地名があり歌がある

- 崎山湾のZā nu k'umuri
(ジュゴンの池) 📍
- 網取の津波伝承地名★
- 網取村の新築祝 (ヤータカ
ビ) の歌



ヤータカビ（新築祝）での中柱の祝いの中心は
ユピトゥキ/ユピトゥンガナシ ヤンバルアワブキ



わが故郷アントウリ

—西表・網取村の民俗と古謡—

山田武男 著
安溪遊地・安溪貴子 編



ナカパラヌニガイヌウタ

一、ウクヤマヌシクカラ

ホーイシヨーガラ ホーシヨーガ

二、シクヤマヌナカカラ

三、キャンギパラバ トウリダシ

四、イジヨーキパラバ トウリダシ

五、ユピトウンガナシヌ ウカギニ

六、ダイクシユーニ ワタシヨーリ

七、アラミゾーマン プリヨーリ

八、ゾンギママニ シダシヨーリ

九、カニヌママニ クヌミヨーリ

ユピトウンガナシンユーリ

バーヌンユーリ

シットウイシットウイ

網取のヤータカビ

- 流木には魔物が乗っているという
与論島などの考えと違って、寄り
付いた大木からりっぱな家ができ
たという内容である。琉球弧の北
と南では、海が幸いをもたらす
か、災いをもたらすかの世界観に
違いがあるかのようなのである。さら
に南ではどのようなになっているの
だろうか？
- 私がLinkageプロジェクトでとり
組んでみたい課題のひとつです。

ヤータカビ謡（一）

一、ウラチンヌ クシナガ トウイル
パマンナカ

ハイホー ハイホーサヌ（パヤシ）

二、ウブキムトウ ユリヤキューサ

ナガキムトウ ユリヤキューサ

三、ウブパマニ トウリチキ

ナガパママーリ トウリチキ

四、ヤマトウマリ ユキパバ

ウキナーマリ ブヌパバ

五、アラトウナカ アラシヨール

クマトウナカ クマミヨール

六、ウデイニカキ トウリムチ

カタニカキ トウリムチ

七、ウブキムトウ ニシャイキ

ナガキムトウ ニシャイキ

八、パラヤパラ バギトウリ

一、浦内越しの長い十尋の
浜のまんなかに

（はやし、以下同じ）

二、大木が根元から その長い木が

根元こそ流れ着き

三、広い浜に繋ぎおき

長い浜に繋ぎおき

四、やまとから来たヨキの刃を

沖縄から来た斧の刃を

五、荒い砥石で研ぎ澄ませ

細かい砥石で研ぎ澄ませ

六、腕に掛け取り持ち

肩に掛け取り持ち

七、太い大木の元そこへ行き

長い大木の元そこへ行き

八、柱は柱に割りとり